

2025～26年度 RI第2650地区

創立 昭和36年6月28日

承認 昭和36年8月 3日

勝山ロータリークラブ週報

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30

例会場 勝山市市民交流センター

〒911-0811 福井県勝山市片瀬町1丁目402番地

TEL 0779-87-7761 FAX 0779-87-7760

URL: <https://rid2650.gr.jp/club-katsuyama>

Email: katsuyamarc@gmail.com

■会長 滝川 博則 ■幹事 辻 利津子

編集発行・文責 公共イメージ委員会

会長メッセージ

～ 縁（えにし）を継なぐ ～

第3088回 例会 （7月22日）

●会長スピーチ

会長 滝川 博則



梅雨が明けました。連日の猛暑日ですが、皆様体調は大丈夫でしょうか。

先日営業先のお客様のところで、温かいペパーミントティーをいただきました。不思議と体内の熱が下がりました。

暑いので冷たい飲み物を飲んだり、食べたりしがちですが、昔からこの暑い時期に沢山採れるキュウリやトマト、スイカなどの夏野菜を摂っていただき、体調を整える事をお勧めしたいと思います。

さて、先日（16日）勝山商工会議所さん主催の勝山左義長まつり大阪万博出演応援バスの企画に参加してきました。

ロータリーの会員の皆様、家族の方々含め総勢60名の参加で、会場席の一角に陣取りまして勝山左義長まつり保存会の出演を応援しました。

僭越ながら当日の応援団長を仰せつかり、出演者を盛り上げさせていただいた次第です。

保存会の榊家会長さんからは、舞台から我々の応援する姿が良く見えて大変心強く、落ち着いて演奏できたとのこと言葉もいただきました。

当日は勝山左義長保存会演奏の他に、福井商業高校のJETSの皆さんのパフォーマンスや恐竜ショーで会場におられた国内外のお客様に、勝山市をそして福井県の魅力を発信できたのではないかと思います。

本日は水上勝山市長様をゲスト卓話にお招きいたしました。

今勝山市の先頭に立ち、勝山市の魅力を国内外に発信されている水上市長様のお話をお聞かせ願えること、大変楽しみです。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

●幹事報告

幹事 辻 利津子

○福井ブロック米山奨学委員長会議のご案内

9月7日（日）14:00～16:00 会場 アオッサ 606

◆到着物

福井東RC創立50周年記念誌

●出席報告

山内 智子

7月22日	欠席3名	86.36%
7月15日	欠席5名	77.27%

●ニコニコ報告

IMのご案内と登録のお願い

笠松 誠一

三国RC

●会員よりお知らせ

勝山納涼花火大会：8月14日（木）開催。7月28日締切でクラウドファンディングを実施中。支援者には駐車場提供の特典があり、手続きが不明な場合は商工会議所まで。

インターシティミーティングのご案内

三国ロータリークラブ IM実行委員

加藤 靖氏 鵜田 照新氏

笑顔の福井、より輝く地域をめざして

をテーマに開催させていただきます。ご登録をお願いいたします。



開催日 2025年11月8日（土）

会場 みくに未来ホール

式典 13:00

懇親会 16:30（三国体育館）

本日 プログラム	会計報告	8月12日 プログラム	休会	8月19日 プログラム	ゲスト卓話 中村武士氏	8月26日 プログラム	事前クラブ協議会
-------------	------	----------------	----	----------------	----------------	----------------	----------

ゲスト卓話

勝山市政の現在と今後の展望

勝山市長 水上 実喜夫 氏



「楽しい笑顔のまちづくり」をテーマに市政を推進。これまで子供関連施策に注力してきたが、高齢者団体からの「高齢者施策とのバランスが悪い」との指摘を受け、今後は高齢者支援にも力を入れ、よりバランスの取れた政策展開を目指す。

勝山市の65歳以上人口比率は39.13%に達しており、高齢化への対応は喫緊の課題となっている。

①115（いいこ）プロジェクトの推進

人口減少対策と子育て支援

市の人口は現在2万人強で、数年後には2万人を割る見込み。昨年度の出生数76名を100名に引き上げることを目標に、以下の施策を推進する。

- ・0歳から18歳までの子どもに対し、年額6万円（総額115万円）を子ども名義の口座へ直接支給する。
- ・総合的な移住・定住促進：結婚、教育、出産、移住、仕事、住宅に関する施策を一体的に推進するプロジェクトチームが発足済み。近隣市町からの移住増加を目指す。

②観光振興とインバウンド戦略

昨年の観光客数は298万人に達し、コロナ禍以前のピークを上回った。

宿泊者数の課題と対策：観光客数に対し宿泊者数は12万8千人と少なく、宿泊施設の不足が最大の課題。宿泊施設の誘致に注力しており、複数の計画が具体化しつつある。

インバウンドの強化：福井県はインバウンド誘致で全国46位と出遅れているが、越前大仏（増加率全国2位）などの高いポテンシャルを活かし、将来のインバウンド6,000万人時代を見据えた対応を強化する。

星野リゾートのホテル建設計画：長尾山総合公園にて、通称「松ぼっくり」と呼ばれるホテル「リゾナーレ福井」の建設が進行中（令和9年秋開業予定）。



③教育環境の革新

福井県立大学 恐竜学部：今春開学し、34名（うち32名が県外出身）が入学。来年度は定員を40名に増やす予定。将来的には大学院まで含め100人規模の若者が市内で生活することになり、中間人口の増加に貢献すると期待される。学生の市内居住を促すため、下宿提供の募集や家賃補助（月額2万4千円）を実施。

教育会館の改修：子どもから高齢者まで市民全体の交流拠点として再整備。学習スペースや英語学習環境の提供、恐竜学部生との連携を計画。

小中学校の再編問題：多くの小学校で児童数が一桁となり再編は待ったなしの状況だが、保護者との合意形成が課題。まずは隣接する学校へ通学できる「隣接校区制度」の活用から着手し、野向地区での議論をモデルケースとして他地区へ展開する方針。

④高齢化への対応と交通システムの再構築

高齢化率39.2%という深刻な状況に対応するため、生活支援を強化する。

フルデマンドバスの導入：令和9年4月より、電話一本で希望の時間・場所に配車される乗り合い交通システムを市内全域で運行開始。これに伴い、既存の路線バスは基本的に廃止される。高齢者の交通手段確保や観光客の利用を目的とし、現在一部地区で実証実験中。

まちづくり会館の機能強化：各地域のまちづくり会館を高齢者が集う拠点とし、職員が高齢者団体の活動（PC作業、印刷等）を積極的に支援する体制を構築。

会員のコーナー

久保光子会員

AIの勉強、始めます！

～時代は、生成AIからAIエージェントへ

見様見真似の制作物が、4ヶ月後、どのように変化しているか楽しみです。因みにデジタルまるっきしダメな久保です。

文章も直せない。文字化けする。

のAI活用能力が4ヶ月後どう進化するか！

という制作物です。⇒

たま～に見せてくれる
ツーショット

7月23日、正宗16歳の誕生日を迎えられました。保護猫のみゃーこは、正宗にしょっちゅうにゃんブロを仕掛けていましたが、正宗がいくつかの病気を抱えるようになってからは、そっと近づいて耳を舐めたり、足の匂いをかいだりするようになりたした。動物の勘？病気だということが分かるのかな？